

## 地域おこし協力隊をきっかけとした 地方創生への取り組み

～地域の魅力発見の鍵は  
「よそもの目線」にあり～



ミカタスイッチ株式会社 代表取締役  
(元・内子町地域おこし協力隊)

納堂 邦弘

## ～自己紹介～

・生まれ（ただけ）はアメリカ 、

自由奔放（いいかげん）な子育て…

・育ち（高校まで）は大阪府枚方市、

亀とブランコ、少年野球、バスケ部、バレーボール部…  
夢は特になし…

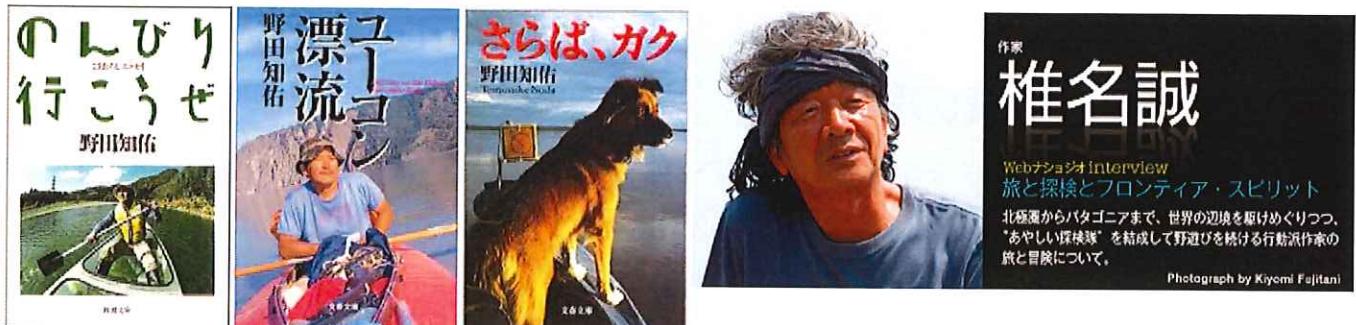


<ひらかたパーク HPより>

- ・大学時代は京都、北海道、アラスカ…

五月病 ⇒ アメリカへ語学留学 

⇒ 野田知佑、椎名誠の世界へ

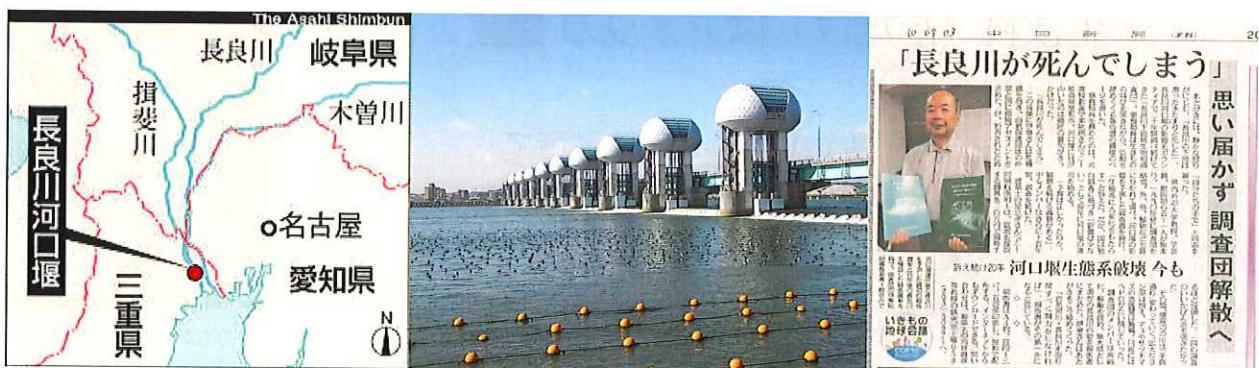


- ・好きな（好きだった）こと：カヌー、キャンプ、読書、映画…
- ・身につけた特技：アイロン掛け、こなもん料理（たこ焼き等）

3

- ・環境問題への関心↑

長良川河口堰反対運動、COP10でのボランティア等



- ・就職はせずに、イギリス  へ

環境問題 ⇒ 途上国の貧困問題や国際協力分野への関心↑

4

- ・20代は、国際協力NGO（神戸）のスタッフとして、  
タイ  、ミャンマー  、インドネシア  、  
フィリピン  、パプア・ニューギニア  の農村で  
有機農業や保健衛生、洋裁技術等の普及に関わる。



5

- ・30代は、民間企業（東京）で、  
CSR（企業の社会的責任）活動の  
支援業務につき、  
CSRレポートの企画・制作や、



6

社会貢献活動（東日本大震災後の復興支援等）に携わる。

## 住人十色

第66回

地域おこし協力隊として内子町へ道の駅せせらぎを拠点に活動スタート



○同じ目標を持つ山内大輔さん（左）/池城むこし協力隊）とは既に暮り往來。肩をわざた「道の駅小田の郷せせらぎ」の前で

納堂 邦弘さん（40）小田上

- ・2014年10月から内子町地域おこし協力隊（小田地区担当）として、

「道の駅小田の郷せせらぎ」と小田支所を拠点に活動し、昨年9月末に任期終了。

44才。4人家族（中3、小4）

<「広報うちこ」2014年11月号>

7

10月1日から内子町で4人目の地域おこし協力隊となった納堂邦弘さん（道の駅小田の郷せせらぎ）のマネージャーとして経営や運営の支援をします。納堂さんはアメリカ生まれ大阪育ち。4人家族で今は単身で内子町に来ていて。以前は東京に住み、企業の社会貢献活動の企画・立案やドバイスをする仕事をしていました。20代のころは国際協力NGOの一員としてタイやインドネシアなどの農漁村を飛び回り、有機農業や保健衛生計画の普及に携わるなど、さまざまな経験を持ちます。

内子町に来た理由を「東日本大震災で、大都市の生活の危うさを知ると同時に、本当の意味での豊かさに気付いた。自分の経験を生かして施設に貢献しながら大好きな自然に囲まれて暮らしたい」と思つた」と言う納堂さん。カヌーや山歩きが大好きで、特に小田深山に魅力と可能性を感じているそうです。納堂さんは「小田急城は住む人たちの人生や小田深山などの自然が魅力でいろいろな機会が毎に浮かぶ。林業の町にふさわしい地域おこしきただ」とと垂涎くなりたい。見かけたら声を掛けてほしい」と爽やかな笑顔で語っていました。

## ～そもそも「地域おこし協力隊」とは？～

- ・平成21年度、総務省の事業として**89名**（31自治体）の隊員でスタート。
- ・平成25年度、**978名**が北海道から沖縄まで全国に展開。
- ・平成29年度には**4,830名**（997自治体）に！  
⇒[協力隊データ（H29年度）](#)

都市部から、ヨソモノ、バカモノ、ワカモノを地域へ！

“地方創生”

▼  
移住・定住促進

起業・雇用創出

8

# ～なぜ「内子町（小田地区）」を選んだのか？～

## ① 内子町の歴史

（町並み保存、棚田保全、近自然工法）  
自然（小田深山、小田川・・・）



## ② 活動内容や目的が比較的はっきりしていたから。

## ③ 受け入れ側の熱意や誠意

⇒ 結局は「人」と「縁」



9



## 小田地区 中心地MAP



11

役場（小田支所）

道の駅小田の郷せせらぎ

巨大倉庫群

加工所  
(オダメイド)

かじか亭  
(たらいうどん屋)



12



まず、  
内子を巡る



<内子町 HPより>



地域を巡り、出会う魅力や人財





行事に参加し、魅力を体感



地域の力を知る





出荷者の皆さんと共に



出荷者の魅力を知る



同時に聞こえてくる、見えてくる現状や課題…

急速な人口減少

空き家の増加

買い物弱者の増加

小規模農家の増加

林業の衰退

特産品・  
観光スポット  
の少なさ

19

ヨソ者だからこそ見える、探せる可能性！「あるもの探し」

交流人口・  
来客数の増加

空き家は  
資源

年中無休  
「せせらぎ」への  
ニーズ↑

「稼ぐ力」があり  
「続けられる」  
テーマは何か？

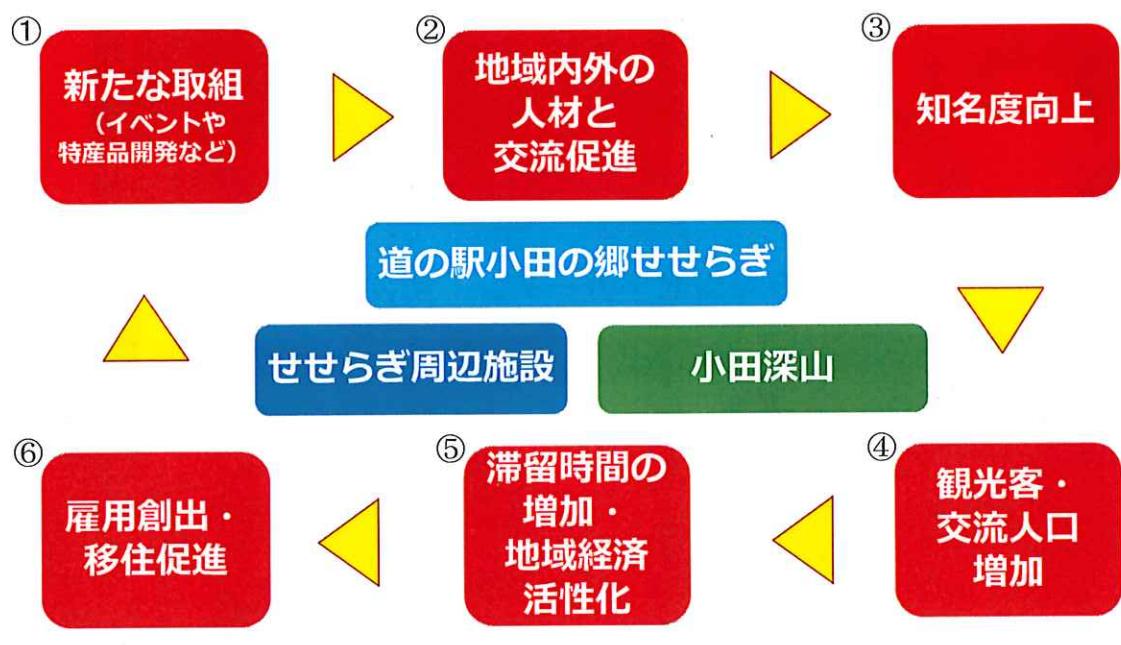
高付加価値な  
農作物の存在

元気な森林組合

“オダメイド”・  
観光スポット  
の創造

20

# 見えた可能性へのアプローチを整理し、目標・成果を見える化！



21

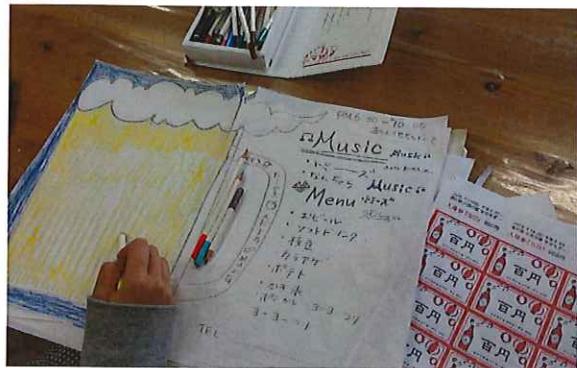


セセラギ☆ビアガーデン 前夜①





セセラギ☆ビアガーデン 前夜②



未活用の巨大倉庫 ⇒

“セセラギ☆ビアガーデン”会場（地元人財の発見）

## ～「オダメイド」事業の概要～

### コンセプト

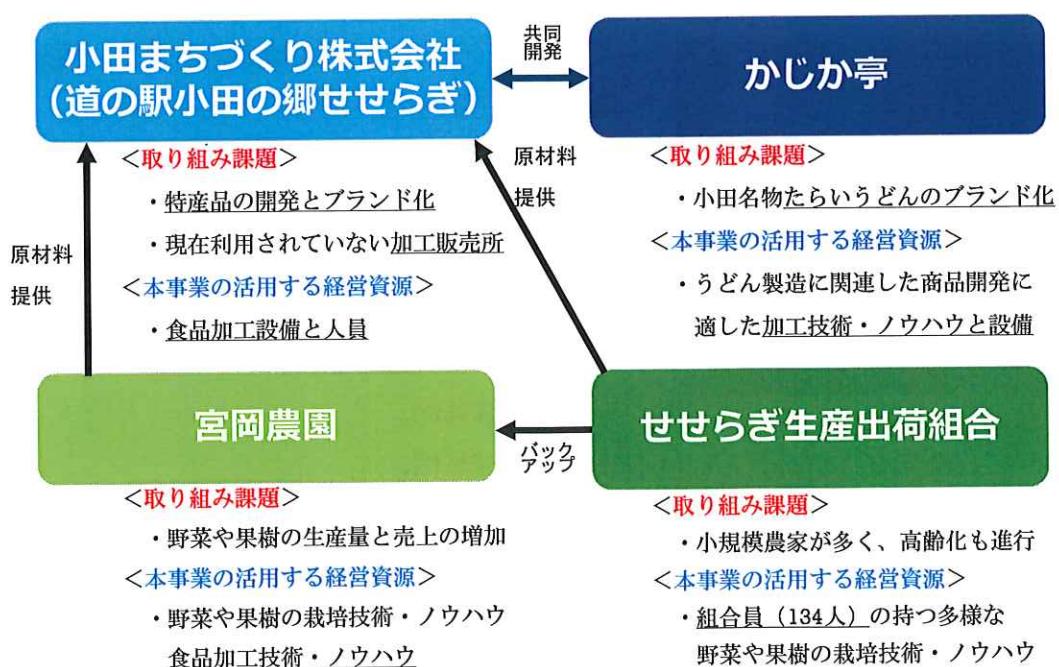
- 特徴的で競合の少ない健康野菜や山里らしい食材を利用した  
安心・安全・ヘルシー、そしてちょっとオシャレな特産品作り

### ターゲット

- 増加傾向のお遍路さん（外国人含む）、サイクリスト、紅葉や  
スキーシーズンの観光客（※道の駅利用客は昨年度延べ8万5千人を超える過去最高）
- 中期的には、都市部のヘルシー志向層（30～40代女性やアスリート）への  
アプローチを目指し、ネット販売開始等での販路拡大を図る。

25

## ～「オダメイド」事業の体制図～ ※えひめ農商工連携ファンド採択時



26



未利用の加工販売所 ⇒ “オダメイド” スイーツ工房（地元人財・食材の発見）



## <アピオス (アメリカホドイモ) >



- マメ科のイモで、北米大陸東部が原産。国内では青森県が主要産地。旬は11月～3月頃。
- ジャガイモとサトイモを合わせたような、栗にも近い食味。
- 非常に栄養価が高く、ジャガイモと比較して、エネルギーは2.6倍、タンパク質は3倍、鉄分は4倍、纖維は5倍、カルシウムは30倍
- 有機栽培が可能で、繁殖力も強いため生産者や生産量の増加も見込みやすい。

## <菊イモ>



- ・キク科の多年草で、北米が原産。根の部分が食用。国内では長野県が産地化に取り組んでいる。旬は11月から2月頃。
- ・シャキシャキしてほのかに甘みのある食味。
- ・「天然のインシュリン」といわれる「イヌリン」を豊富に含んでいて、**健康野菜**として注目を集めつつある。
- ・アピオスと同様、有機栽培が比較的容易で、繁殖力も強いため、生産者や生産量の増加も見込みやすい。

29



<各種デザインや新ブランドの検討>





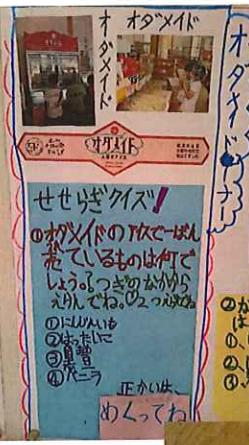
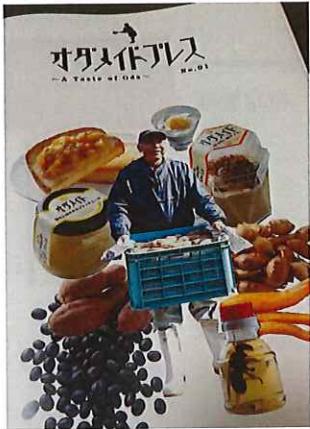
<NHK「いよ×イチ」取材 2016年2月17日放送>



＜愛媛新聞 2016年2月27日＞

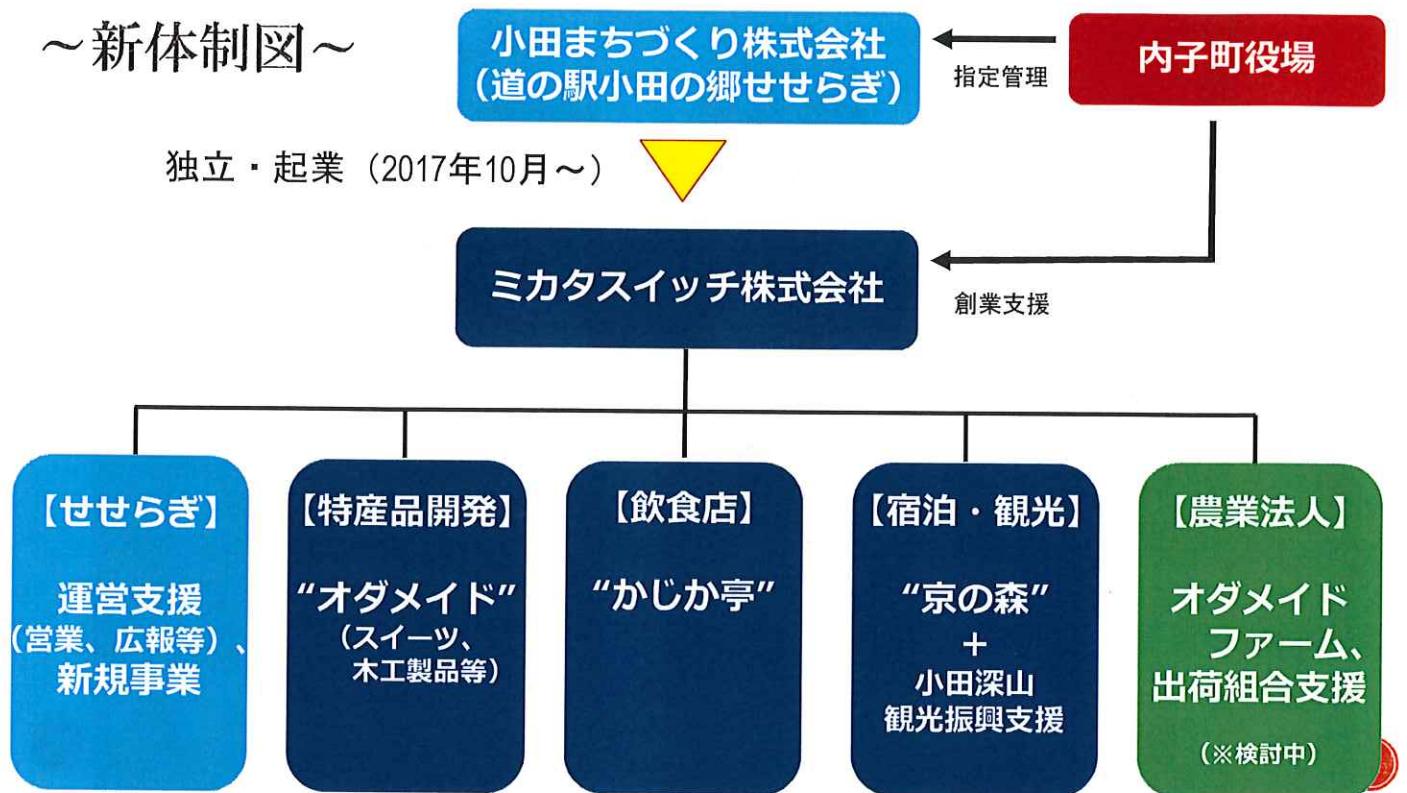


＜2016年4月23日より 道の駅限定で販売開始！＞



<小田小3年生の総合学習で通年の交流>

## ～新体制図～



## ～現在の活動～

### 道の駅 小田の郷せせらぎ

- 観光案内所（移住案内含む）機能の強化  
(国内外のお遍路さん、サイクリスト等向けPR)

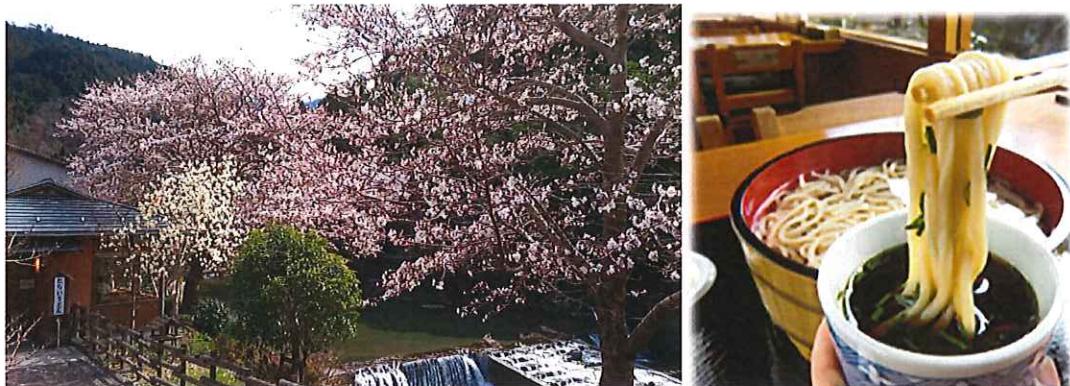


- “オダメイド” 効率的な生産体制・設備の検討
- “オダメイド” 商品の（無理のない）販路拡大（ネット販売）
- “オダメイド” 旬の食材を使った新商品の持続的な開発



## かじか亭 (たらいうどん屋)

- “**継業**” ⇒ 年中無休化、  
メニューのリニューアル（道の駅の食材利用↑ & 宣伝）、  
カフェ時々バー計画、コミュニティスペース化 等



37

## せせらぎ周辺にて

- “**里山生活体験**” × “**インバウンド**” の拠点を目指して  
築160年の古民家“京の森”の利活用：

活用事例) 草木染め、こんにゃく作り、BBQ付き田植え・稻刈り、  
移住関連イベント、大学生の調査拠点など



38

## 小田深山

- 地元スキー場やJAF、役場とのタイアップ企画のサポート（山菜ツアー、子ども向けネイチャーキャンプ、渓谷ガイド等）
- 老朽化した小田深山荘の建設設計画と合わせた、小田深山渓谷の観光振興計画への参画



## 内子町・愛媛県全体

- 移住促進関連プログラムへの協力
- 「えひめ地域移住相談員」への登録



39



ご清聴、ありがとうございました。

モノのミカタを変える（スイッチ）ことで、マイナスからプラスを、課題から可能性を探していきましょう！

40